

## 花巻市石鳥谷地域協議会 平成 23 年度第 2 回会議 会議録

### 【日 時】

平成 23 年 8 月 18 日（木）午後 3 時～午後 4 時 50 分

### 【場 所】

石鳥谷総合支所 3 階 大会議室

### 【出席者】

地域協議会委員 9 名

（欠席委員：長澤勝美委員、主濱芳江委員、藤原眞樹男委員）

市側（支所）：菅原石鳥谷総合支所長、伊藤地域振興課長、関地域支援監、照井市民サービス課長、地域振興課佐藤課長補佐、高橋課長補佐、清水地域づくり係長、熊谷主査

### 【協 議】

#### (1) 石鳥谷地域課題について

第 1 回会議で提案された課題について、継続して内容を協議した。

#### (2) その他

委員から 2 件の提案・照会事項があり、次回会議において市の資料により説明することとした。（照会事項：①敬老祭について ②放射能関係の諸問題について）

### 【その他】

会議を傍聴した者 なし

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配付資料は以下のとおり

「石鳥谷地域における地域課題について」

（参考資料）「花巻市地域医療ガイド」抜粋コピー

「花巻市災害時要援護者登録制度について」

「広報はなまき」H23. 6. 15 発行No.125 号記事 6～7 ページのコピー

（記事：ご存知ですか？情報公開制度 個人情報保護制度）

## ※ 顛末

○ 進行／伊藤地域振興課長

1. 開 会 菅原久男副会長が開会を宣した。15：00

## 2. 挨拶

### 菅原昭造会長

お久しぶりでございました。本来であれば、会を重ねてこの地域の課題について知恵を出し合うのがこの会の趣旨と思いますが、今日、第2回ということでございます。具体的には、市長から諮問されたことがあっても無くても定例に集まって意見交換するのが大事な取組みかと思っております。私は、市長からいくつかの委員を委嘱されておりますが、一年に1回も招集されない会議もでございます。少なくとも、石鳥谷地域協議会の会議はその様なことの無いよう心掛けて参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。以上を申し上げまして挨拶と致します。

## 3. 協議

### 菅原昭造会長

それでは、協議に入ります。地域課題について、事務局から簡単に説明いただいて、前回からの継続ということで協議を進めて参ります。

それでは、はじめに高橋貢委員の提案であります(1)戸塚森森林公園の整備について、説明願います。

### 伊藤地域振興課長

花巻市都市計画マスタープランにおける戸塚森森林公園の位置付け、考え方について説明した。このほか、観光課の「みちさき案内計画」について紹介した。

### 菅原昭造会長

みなさんの方からご発言をお願いします。

### 菅原久男委員

説明があつたとおり、花巻市、石鳥谷町の観光資源であると思えます。このコミュニティ予算の使用の是非というよりも、花巻市として要望にしたがって進めていただきたいと思えます。

### 菅原昭造会長

はい。

#### **熊谷幸雄委員**

この間の会議で、会議後にキャンプ場を利用するためのお願いをしておりまして、ところ現場が整理されておりました。公園内もきれいに草刈り管理されており、石鳥谷町内の小学生のリーダーキャンプでしたが十分利用することができました。

先ほど基本プランがあるということでしたが、トイレ整備はわかりますが、遊歩道の整備等がどの程度計画されているかわかりますか。

#### **高橋地域振興課長補佐**

遊歩道の整備については今のところ整備計画はありません。既存の遊歩道のひどいところを少しずつ補修していくというのが現段階のやり方です。遊歩道整備については白紙の状態です。

#### **熊谷幸雄委員**

それでは、遊歩道の補修をお願いしたいです。遊歩道は管理人さん達がきれいに草取りしてくれていて、シーズン中、快適に使われていると思いますが、階段かどうか分からないところもありましたので、そちらの方の補修をお願いいたします。

#### **菅原昭造会長**

森林公園の整備という大項目の中に入るとはと思いますが、皆さんからあと何かございませんか。どうぞ。

#### **高橋地域振興課長補佐**

近々補修に入る予定でして、皆様のご要望に添えるかどうか分かりませんが、予算の範囲内で補修をいたしたいと存じます。

#### **鈴木俊一委員**

私も小学校の学年行事で、親子レクを戸塚森でさせていただいたんですが、やはり階段の補修をお願いします。

#### **菅原昭造会長**

これからオフシーズンに入っていくと思われませんが、来年度に向けて整備していただければと思います。

キャンプをしてみてもいかがでしたか。

#### **熊谷幸雄委員**

気候は暑くて、地震や雨もありましたが、公園はきれいでトイレ整備をすれば

快適に利用できるのではないかと思いました。他の地区からも利用が増えるのではないかと思います。

#### 菅原昭造会長

ほかに何かございませんか。

#### 淵澤節子委員

私も今月初め、八重畑の体協主催のウォーキングに行ったんですが、頂上へ行ったら立木が高くてせっかくの眺望が残念でした。石鳥谷の方がもう少し見えるといいなと思いました。見晴らしがいいように考えていただければと思いました。

#### 菅原昭造会長

戸塚森森林公園は貴重な財産だと思いますので、役所に色々と要望もありますがお互いに知恵を出し合って有効活用していきたいものだと思います。

今の事柄について、総括的に何かコメントありましたらお願いします。

#### 高橋地域振興課長補佐

見晴らしの件ですが、木を植えれば上に伸びていくものですし、そうかと言って切ればいいかという森林公園という名称上難しい所でもあります。展望台と位置付けている個所もありますので、その辺につきましては良く見晴らしがきくように努力したいと思えます。ただ、南側につきましては、民有林のため手を付けることができませんので、ご理解をいただきたいと思えます。

#### 菅原昭造会長

見晴らし、眺望と森林保全は難しい面もあろうかと思えますが、有識者から見ますと伐採は自然破壊に繋がるという意見もあるので十分に理解を得ながら、お互いに知恵を出したいと思えます。

それでは、戸塚森森林公園の整備については色々ご要望もあったようですが、提案者の方はよろしいでしょうか。

#### 高橋貢委員

はい。

#### 菅原昭造会長

非常に具体的な提案に対して、役所側でも具体的な検討をされているところのようであります。この課題については、極めて明るい見通しが立っていると思えます。

それでは、次「石鳥谷地域の子ども医療問題」について田中由一委員さんからの提案であります。これについて、みなさんからご意見いただきたいと思いま

す。前回では、医師不足問題の根本的な説明がありました。この機会に改めてご意見をいただきたいと思ひます。

医者の問題はやはり難しいでしょうか、どうでしょうか。

#### **照井市民サービス課長**

資料「花巻市地域医療ガイド抜粋コピー」により市内の医療機関について説明した。

#### **菅原昭造会長**

確かに、専門の小児科でないと心配だという方もいると思ひますが、小児科を掲げていることを知らない方もあるのではないのでしょうか。情報を知らせることも大切と思ひますが、田中委員さんいかがでしょうか。

#### **田中由一委員**

この資料はとてもいいと思ひんですが、これは抜粋したコピーですが、具体的な医療機関の掲載はどうなっているのでしょうか。

#### **伊藤地域振興課長**

全戸に配布されているそうです。20ページ程の冊子で今年の配布です。

#### **田中由一委員**

とてもいい資料なので、全戸配布だけでなく、保育園とかにも配布するとみんなに目が届くのではないかと思ひます。

#### **菅原昭造会長**

そのとおりだと思ひます。全戸配布されていることは確かですが、表紙だけ見て活用されていない場合もあると思ひますので、具体的に保育園にという提案がありました。利用してもらうために保育園等も活用してみてもどうでしょうか。

#### **伊藤地域振興課長**

市のホームページにも載っておりますので、そちらも活用していただきたいと思ひます。

#### **菅原昭造会長**

それでは「石鳥谷地域の子どもの医療問題」について、根本的な解決にはならないかもしれませんが、この資料（花巻市地域医療ガイド）を見ますと小児科はあるようですので、この資料を活用していただけるよう、私たちも含めて周知徹底するようお互いに気を付けていきたいと思ひます。

### 熊谷幸雄委員

この資料の16ページに載っている部分（「休日や夜間に具合が悪くなったら」、「子供がこんな症状の時は…？」）が大事だと思います。救急のこと、かかりつけ医のことや小児科の上手な利用の仕方を子どもの親が知ること、親が子どものことを知ることの方が大事だと思います。私の経験から、子どもを知り、医者に頼りすぎないことで、親の負担を減らすことにもなるのではないかと思います。

### 菅原昭造会長

“子どもは宝”とも申します、子どものことについては、教育、医療を含め関心が高くそれぞれに意見があるのは当たり前であります。それゆえに、バランス感覚というものが大切になってくると思います。

ほかございませんか。それでは、この問題については、今日のところは確認というところで終わりたいと思います。

3番目に移ります。町のイメージアップを図りたいという趣旨ですが。今日は、提案者は欠席ですが、皆さんの方でお考えになったことがあればご発言ください。

### 高橋貢委員

先日行われた夢まつりは、何万人くらいだったとか、盛大だった、とかの市の方の評価はあるものでしょうか。情報は捉えているでしょうか、人数的なものです。

### 伊藤地域振興課長

去年よりは増えているようであります。去年は敷地の中だけだったそうですが、カウントしたそうです。大体1万人くらいでした。今年はカウントしていませんが、中だけで倍は来ているでしょうということでした。今年は、どこの花火も人出が多かったそうです。非常に良かったと思っております。

### 菅原昭造会長

夢まつりもある意味では、イメージアップだったと思いますが、前年度比較で多かったというのは何だったんでしょうか。震災の影響でしょうか。

### 伊藤地域振興課長

ここばかりではないそうです。去年は、雨がありましたので天候の影響もありました。

### 高橋地域振興課長補佐

去年は、確か前日に台風が東北横断し、翌朝会場の水はけ作業をしましたが、花火が始まる時点でも会場の足元はぬかるみでした。観客は、中央のイベントを

する周り、後は奥行き部分と、ほかはコンクリート部分に集まりました。そういった中でカウントしたのが1万人ぐらい。今年でいうと、上口側の草地は、ほぼ満席で埋まっています、イベントのところまでかなり来ていたということで、見方としては約倍で、人数的には2万人超はいったと見ています。

それから、今年は土曜日ということで、去年より出足が早く、1時間以上早く人出がありました。そういったこともあって人が多かったのではないかと認識しております。

### 菅原昭造会長

町のイメージ戦略としては、何々記念館の例があったりして、池野恋さんとか、さいとうたかをさんというような人が石鳥谷に縁があるよというようなところがあります。この人達のイメージをなんとかして活用できないかといった意図があったと思います。この件に関して何かご意見ありませんか。

今、池野恋さんの活動はどうですか。

### 熊谷主査

「池野恋」さんの代表作等について説明。

### 関地域支援監

昔、夢まつり花火のうちわに池野恋さんのイラストが載ったことがありました。

### 菅原昭造会長

ある時期が来れば、それを見直しすることがあります。町のイメージアップ戦略では、何年か後には見直しをしていくわけですが、その中で昔やったことを繰り返すことがあってもいいのではないのでしょうか。

ほかにご意見ありませんか。

### 菅原久男委員

私は、これはとてもすばらしいことだと思います。町のシンボリックなものを街中の店の前に飾ったりしますね。これはプロジェクトチームでも組めばいいんじゃないかと思います。

### 菅原昭造会長

知っている方もあると思いますが、町の社会福祉協議会で池野恋さんにイラストを書いてもらって一人暮らしのお年寄りにバックを作りました。ただでデザインしてもらいました。池野恋さんもこの町の人ですよ、ということを知らしめることでもありましたが、今後いろんな場面で、この町の住人でありますのでいろいろと活躍してもらったらどうかということでした。

皆さんいかでしょうか。

### 川村茂委員

酒の町石鳥谷についても、かつては色々取り組みましたが、今では全部紫波町に持っていかれてしまって、ひとつの時代の流れではありますが、今は、何もないという状況です。しかし、続けることに意味があると思うので。

### 菅原昭造会長

はい。イメージアップ戦略はいろいろあると思いますが、これも継続としたいと思います。

次に参ります。嫁婿対策ですが、なかなかうまくいきません。身近にありますと身にしみます。高橋委員さん、ご意見ございませんか。

### 高橋貢委員

考えてみますと、昔の話をしてはどうにもなりません、結婚しない、出来ない人が多いということには、生活が安定しない。時代のせいもあるんでしょうけど、我々の頃は、安い高いは別としても、去年よりは今年はいくらかでも給料収入が増えると思っていました。子育てや、お金がかかる世代がわかって、そういうときのために蓄えられるかと躊躇している。世の中が悪いといってしまうまでですが、そういうふうになくなってしまっている。フリーターのような形で不安定な収入の場合、そういったことが結婚をためらっている原因となっているのではないと思う。きちっと仕事をして独身の人はいますけれども。これは子ども、若者は国の財産だというような考えが出てこなければ難しいのかなとか、世の中がある一定水準まで落ちてこない、またあがってくる時代はないのかな、と思ったりしています。

### 菅原昭造会長

なかなか難しいですね。渕澤委員さんいかがですか。

### 渕澤節子委員

女性の人達を見ていると、結婚して子どもが出来て、いやになればすぐ家に戻ってきて家で子どもを見てもらおうと。なんだか安易に考えているのではないかなと思います。もっと家族、親たちも真剣に考えてやらなければならないのではと、この頃見ていると思います。結婚しないのは、フリーターの人達が増えているからかなとも思いますし、かと思えば、そういう人の親達が車を買ってあげたり、お小遣いをあげたりしている面もあるので、親のしつけの問題かなと思うこともあります。

### 伊藤地域振興課長

市のホームページでの結婚活動支援ページ「婚活支援サポート」につい

て紹介した。

### 菅原昭造会長

この課題は、何十年と積み重ねているものでもあります。そういう意味で、成果が出なくてもこの事業は続けていかなければならないと思っておりますが、なかなかうまくいかないというのが率直な意見であります。

### 伊藤賢治委員

私のところの生産組合とか私の周りを見回してみても、50歳近くになっても独身でいる人がいます。誘っても地元の懇親会にあまり入りたがらない。すぐに参加しないで帰ってしまう。年寄りと話すのが嫌なのかわかりませんが、コミュニケーションするのが苦手と言うのか、もう少し話をするのも大事だと思うんですが、消極的な感じがします。

### 菅原昭造会長

熊谷さん、いかがですか。

### 熊谷幸雄委員

昔は、青年団体があって、青年会とか農研クラブとか色々な団体やグループで集まったの活動があったんですが、今の青年は、団体やグループ活動しませんものね。同じ趣味の人たちで集まっていますものね。友達と飲みに行ったりカラオケはするけれど、地元で集まって団体活動はしないですしね。気の合う者同志の話ばかりで、話し合い下手や大人との話下手になるんじゃないかと思います。

出会いの場のイベントにしても、テレビのお見合い企画などを当てにしてもダメだし、どこの農業委員会でも苦戦しているお見合いイベントもダメだし、やはり、長く続くサークルとか青年団体の活動のようなものに戻るのではないのでしょうか。そういうところで結婚している例がありました。

### 菅原昭造会長

同じ職場内のカップルもありますが、若い男性も女性もたくさんいるのですが、職場や自分の生活の圏内から外へ出ないですものね。結果的には出会いの機会が極めて偏ってしまうということです。いろんな意味でのサークルみたいなものがあれば、熊谷委員からお話があったようなことも、もっと進むのかなと思います。

どこかで、出会いの場が、組織的にしかも継続的にあれば、職場内でカップルになる人も勿論あるし、そうでない人達も結構いますね。同様に同じ仕事をしているという親近感がある。その一方そうでない人も結構いる。何らかの場があればいいなといつも感じています。

### 鈴木俊一委員

やっぱり、表（おもて）に出させる工夫ですね。地区民運動会にしてもそういう人は出てこないし、各区の行事をしてもそういう人は出て来ない。

#### 菅原昭造会長

この問題については、また今度、継続することにしましょう。よろしいですか。高橋委員さん。

#### 高橋貢委員

はい。

#### 菅原昭造会長

それでは、伝統芸能の維持継承についてに入ります。前にもお話がありました。が、今年は何の地区が町人会へ行くんですか。

#### 伊藤地域振興課長

大瀬川です。

#### 菅原久男委員

大体決まりました。

#### 菅原昭造会長

町人会に行くことについて、具体的に紹介してください。やはり、継続継承には発表の場が必要ですから。

#### 菅原久男委員

正式には2、3日後に発表します。

概要は、「大瀬川さんさ踊り」が行くということで進んでいます。役員会で決定して行くということになったら、練習が始まりました。目標があることで、保存会の活動を始めることにもなりました。大人も子供と一緒に練習するということが本当にうまくいくと思います。

#### 菅原昭造会長

去年は八重畑、その前は新堀、今年は大瀬川。来年は決まっているんですか、関さん。

#### 関地域支援監

いえ、決まってはいませんが。6つのコミュニティ会議が集まった際には出せないというところもあったのですが、賛同する4つのコミュニティ会議でスタートするということが決まっています。残る一つはというと、来年は該当するとす

れば八日市さんということになります。八日市は、北寺林の神楽と八日市の鹿踊りの大きな二つです。

#### **熊谷幸雄委員**

八日市は北寺林の神楽になると思いますけれども、八幡地区はどうでしょうか。

#### **関地域支援監**

八幡は、コミュニティ会議の話し合いの際には、具体的に賛同するという返事はなかったです。当時は、まず賛同したところからスタートという形で始まりました。

#### **熊谷幸雄委員**

八日市で事情もあり、次に八幡で行ってもらいたいなと個人的に思います。

#### **菅原昭造会長**

伝統芸能について、高橋委員の言うように、この町人会の公演は大変刺激になっているようですね。

#### **伊藤地域振興課長**

今年も1回開催しているんですが、6地区のコミュニティ会議の人達と集まりをしています。昨年までは、会長さんだけのごく少数の人達の会議だったんですが、今年度は会長のほかに3役とか事務局とか、集まる人数も増えたので、いろんな意見が出ると思います。会長さんだけの意見ではなく話し合いがされると思いますので話し合いも風通しが良くなるのではないかと考えております。今後も数回行う予定でおるようですので、その中でこの話題の話し合いが出来ればと思っております。

#### **伊藤地域振興課長**

郷土芸能への助成状況と発表の場の提供ということで事業の実施状況について紹介した。

#### **菅原昭造会長**

町人会での発表のため東京へ行くことばかりが発表の場ではありませんので、町内、近隣のイベントの発表の場においても、出演発表してもらうのが有効だと思っております。施設でもいいし、いろんな場面で発表する機会があればいいと思います。みんなで気を付けて行くということが繋がって続いていくことになるのではと思います。

あとは皆さんから、ご意見ありませんか。

### 淵澤節子委員

伝統芸能の継承ですけれども、お祭りの時に各保育園の子供達が出しますね。そういうのを充実したらどうでしょうか。八重畑の場合は5、6年生の時に神楽をやるんですけども、中学生が（神楽等を）やっているか分かりませんが、充実したらいいのではないかと思います。保育園から、小学校、中学校と忙しいかもしれませんが、伝統芸能の維持継承は、そこら辺から取り組んでいったらいいのではないかと思います。お祭りの時に保育園児が出演することによって、両親はもちろんですけれども、おじいちゃん、おばあちゃん達もたくさん、その踊りを見に来ているようですので、大変いいと思っております。それから、小学校の運動会でも孫が出るからと早めに出かて陣取ったりしているのを見ていて、すごくいいなと思ったりしていますので、保育園から小学校と、中学校はやってるかわかりませんが、繋がっていくといいなと思っております。

### 菅原昭造会長

新堀小学校と八重畑小学校は、随分いろんな場面で取り組んでいると思えますね。ほかございませんか。

（数名の委員より「なし」の意志表示あり）

### 菅原昭造会長

それでは次に参ります。

東日本大震災の安否確認のことですが、この地震の対応等について現状を説明してくれませんか。

### 菅原総合支所長

今現在の市内に避難している被災者の状況と被災者に対する市のサービス提供の状況について説明。

### 伊藤地域振興課長

要援護者と安否確認について資料により説明。

### 菅原昭造会長

高橋貢委員さん、民生委員さんの集まりにおいて、最近はどういう話し合いがなされていますか。

### 高橋貢委員

毎回話すのですが、今説明があったとおりの課題があります。

別な話ですが、「民生委員が要らない情報を流している。」という苦情が来て、市の方では、民生委員の立場で留意してくれと。結果として誓約書を書かされま

したが、基本的に民生委員には個人の情報を公開してはならないとあるのに、誓約書を書かなければならない根拠は何なのかということがありました。結局去年、市長宛に情報を漏らしませんという誓約書を出しました。区長も誓約書を書いたと聞いています。

この間も話をしたのですが、民生委員が1行政区に一人の配置ではなく、複数の行政区を担当する方が結構多くなったため、今回の地震のように一気に安否確認をしなければならないような場合は、自主防災組織とか区長さんをお願いしたり、あるいは町内会長さんや公民館長さんをお願いするということが、我々民生委員の団体の体制もできていないし、お互いの話し合いをするということが、自主防災組織は出来ているけれども、まとまっていないというのが、石鳥谷の現状で今後の課題になると思います。

一人暮らしの方が亡くなって何日も見つからないなどの事例は、ある意味では民生委員も非常に責任を感じているけれども、そうは言っても毎日安否確認するかというとそれも問題があると。農村部は近所づきあいがあるけれども、そうでないところもあって、となりの人がどうなっているかということに関心が無い所もあるというのが現状です。

#### **菅原昭造会長**

この問題は、ずいぶん前から議論されているんですが、情報共有という話があったように、情報の中には洩らしてはならないものが結構ありますので、簡単にはいかないものですが、安否確認に限って言えば、ある程度、区長、民生委員、公民館長等のある程度の方々が関われば、ある程度できることがあるのではないかと思います。いかがでしょうか。

八日市では、何か作ったのではなかったですか。

#### **熊谷幸雄委員**

支援制度の地図を作っていますが、具体的な運用はこれからです。自主防災組織も今年度立ち上げの目標です。

#### **菅原昭造会長**

誤解のないように、誓約書のことについて説明してもらえませんか。

#### **伊藤地域振興課長**

そのことについては、手元に情報がありませんので確認いたします。

#### **菅原昭造会長**

安否確認と情報の制限というのは密接な関わりがあるんですね。情報がなければ、安否確認もたった一人で民生委員がやらなければならないということがあられるようですし、どこまで共有できるのか、その辺がこれからの課題だと思います。

### 川村茂委員

今話題のことについて、私の考えをお話しますが、防災組織を作り、地域の共存共栄をという前提で、それぞれ管理確認という作業工程があるわけですが、各班長さんを通じて、そういったような人たちからの協力を得て進めるのが一番いい方法だと思います。

民生委員さん方のお話を聞いていると、確かに一人で何十人もの人を把握しているのはわかるけれども、でも一人の仕事としてその情報を流してはならないという矛盾はあるけれども、やはり地域の協力をいただかないとこれは出来ない話であって、あまり無理な話はしないで進めたほうがいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

### 菅原昭造会長

どうですか。

### 熊谷幸雄委員

今それをやらなければならないからこそ、たとえば班長レベルに情報を流したとして、それが悪いという言い方になってしまえば、地域の協力を得るのは必要だが情報を流すことがまずいからと、活動範囲を狭めることにならないかということが心配です。やらなければならないことはそのとおりで、自主防災組織は地域のために作るのですが、市では、その自主防災組織の情報について、地元で得た情報は市ではなんとも言えないと言いながら、民生委員は情報を流してはならないと宣誓書を書かせる対応は、市の逃げ口上にしか取れない。そんな対応だと、民生委員や区長等になって市に協力する人がいなくなるのではないかと思います。区長も民生委員も班長もみんな交代していくのだし、そこから情報が洩れないとも限らないわけだから。

そういう意味で活動が狭められることがないようにするためには、さっき川村さんが言ったとおり、きっちりした体系で組織として維持していかなければならないと思います。これから、自主防災組織は活動していかなければならないところだけでも、この情報管理のことについて、市の説明がどっち付かずのために活動に抑制がかかったりしたら、活動の小さい防災組織になってしまわないかと心配です。

### 川村茂委員

よろしいですか。

### 菅原昭造会長

はい。どうぞ。

## 川村茂委員

最近、猪鼻でひとり暮らしの老人の事例があるのでお話しますが、ひとり暮らしの方は、何かあった時の連絡先を民生委員にはなかなか話したがらないという話を聞きました。ある日、温泉で倒れたおばあさんが猪鼻だということで、病院で機転を利かせて私のところに電話が来ました。私は、その人を知っているし、隣の人に連絡先を話していたのも知っていました。民生委員がすべて知っているとは限らない、むしろ知らないほうが多いわけですが、連絡を取り合い関係者が顔を合わせる事が出来ました。

もうひとつの事例は、お寺で倒れて救急車で搬送されたひとり暮らしの方が、誰にも連絡先を知らせていなかったが、機転を利かせて、お寺などで連絡先を探した例があります。もちろん民生委員は何も知らない。ひとり暮らしの方が話したがらなかったからです。

だから、民生委員ばかりでなく、防災組織の班長などに関係者の情報が入ったら、民生委員へその情報を繋げると。まさに、先ほど以来話している共存ではないかと思つての話でした。

## 伊藤地域振興課長

よろしいでしょうか。

## 菅原昭造会長

はい。どうぞ。

## 伊藤地域振興課長

先ほどの話の、区長さんの誓約書の関係ですが、誓約書は取っているそうです。これは今の話ではなく、区長への毎月の住民異動情報の管理のためだそうです。

## 菅原昭造会長

はい、よろしいですか。

この安否確認については、自主防災組織が育っていくことで、情報の共有が地域でされるようになれば、民生委員さんの負担もある程度軽くなるのかなと思いますので、ある意味であまり神経質にならなくてもいいのかなと思いますが、このことについては、自主防災組織が育っていくのかあるいは育てていくのかということと関連させて今後とも究明して参りたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは、これまでは、前回の第1回会議で出たことを確認ということで提案し改めてご意見をいただきます。今日の段階では、この課題については以上とさせていただきます。

それでは、まったく立場を変えまして、(2) その他、前回と関わりなく、この場で日頃考えていることなどございましたら、お願いします。

## 川村茂委員

私は、2つのことを提案させていただきます。

ひとつは敬老祭のあり方についてです。それは、老老敬老祭になっているからです。八重畑の場合は出席率は40パーセントです。去年の場合係る経費は70数万でしたがこのように出席率が低く、更に老老敬老祭という中で今後続ける必要性というものをみんな考えてみたらいいのではないかと思います。これは敬老祭をなくせという意味ではなくそのあり方など方向性について検討してもいい部分が多いのではないかと思います。今後は、国、県、市等の助成金も削減される話が出されているわけですが、緊縮財政の中でのこういった行事のあり方について考えてみたらいいのではないかと思いますので、敬老祭について今後のあり方についての協議を提案します。

それからもうひとつ。“怪しいお米セシウムさん”という風評被害の問題。陸前高田の松を京都の五山火に使う使わないで結局使わないということもありました。私が気にするのは最初のセシウム検査は、木の中心部を検査し、次に検査したのは木の皮の部分と。結果的にセシウムが出たから使わないという話だったと思うのですが、今度は成田山で護摩木に皮をはいで使うと言ったら、一般の方が使わないでほしいと、まったくの風評だと思えます。

それから、市議会では放射線に関する情報共有の提案があるようだが、農協や県などそれぞれの機関で検査が行われていることもあり、私たちも情報を共有しながら安心安全な地域づくりを進めていけるようにしていただきたいと思うわけですね。

## 菅原昭造会長

はい。川村さんの提案については、バックデータをそろえて次回に協議したいと思えます。特に敬老祭については、旧一市三町まったくやり方が違うため、以前のやり方を引き継いでおります。石鳥谷の場合は実行委員会ですし、花巻の場合は、社会福祉協議会の支部単位でやっておりますし、東和は集落単位、大迫も地区で、いずれ以前のやり方を踏襲しておりますし、その関係で出席率はまちまちです。東和は集落毎なのでいいのではないかと思います。データを見ないとわかりませんが。花巻の場合は、出席率が高まれば、会場の広さが足りないということなようであります。80歳まで年齢を上げてしまおうかと、そんなことも議論されています。逆にいうと出席率が低いため実施出来ているという所もあります。いろいろな課題を含めて、次回にしたいと思えます。

それから2番目の問題についてはお聞きのとおりと思えます。

ほかに、この際ご発言をお願いいたします。

## 伊藤賢治委員

市では、放射能について何か発表していますか、たとえば学校関係とか。

#### 菅原総合支所長

市内放射線量測定について市内小中学校、保育園等で測定し、ホームページで公表していることを報告。

#### 菅原昭造会長

今のお話ですが、データ等も含めて次回にしたいと思います。  
田中委員さん何かありますか。

#### 田中由一委員

ありません。

#### 菅原昭造会長

今年は、ラットランドからのお客さんも来ませんでした。そのためにも、こう  
いったことを明らかにして、情報を共有したいと思います。  
それでは、4のその他に移ります。

#### 4. そ の 他

次回会議について、9月下旬から10月開催とした。

#### 5. 閉 会 菅原久男副会長が閉会を宣言した。16：50